

2014年7月24日

公益財団法人 日本サッカー協会
2014年度 第8回理事会

協議事項

1. JFAアカデミー地域展開 JFAアカデミー今治の件			
2014年度第5回理事会（4月10日開催）で愛媛県今治市がJFAアカデミー地域展開の候補地として承認された件について、その後、開校に向けた施設の整備や運営方式、収支計画等に関して協議した結果、JFAアカデミー今治を2015年4月に開校することとしたい。			
【主な調整状況】			
(1) 運営体制	<今治市>		
			・利用施設の耐震対策や大規模改修の責任を負う。 ・長期安定したアカデミー運営のため、市として一貫した支援体制を構築し、総合的支援を行う。
	<愛媛県サッカー協会>		・アカデミーと連携し、愛媛県を中心に、四国地域の普及・育成・指導者養成等の事業の促進を図る。
	<NPO法人今治しまなみスポーツクラブ>		・アカデミー運営の主体となり、収支責任を持つ。
	<日本サッカー協会>		・指導者を派遣すると共に、適正なアカデミー運営のための支援を行う。
(2) 運営方式			・原則として、コーチングスタッフの人件費はJFAが負担し、その他の運営費（宿泊、食事、JFAプログラム、運営スタッフの人件費等）をNPO法人今治しまなみスポーツクラブが負担する。
(3) 施設整備	<寄宿舎>		・上朝小学校（2014年3月閉校）校舎の改修計画が具体性を持って進められている。
	<グラウンド>		・桜井海浜ふれあい広場サッカー場の利用が確約されている。 ・将来的には、上朝小学校校庭や他のグラウンドの整備も検討している。
【現状評価】			
項目	主な内容	評価	備考
基本事項	招致に関する自治体や関係者の理解度や期待度等	◎	自治体、愛媛県サッカー協会等は、アカデミーのフィロソフィーを十分に理解し、共同・連携しながら積極的に招致活動を進めている。
施設整備・施設管理	宿泊施設やグラウンド等の整備計画や運営管理等	○	宿泊施設の整備について今後より具体的な調整が必要ではあるが、その役割（責任）分担は整理されている。グラウンドは既存施設を活用する。

J F A プログラム・学校	地元による支援や教育委員会の協力等	◎	積極的な準備が進められている。
運営	宿泊施設の整備や食事の提供、運営体制の構築、役割（責任）分担の調整等	◎	NPO 法人今治しまなみスポーツクラブが運営主体となる（施設の整備や管理、食事の提供、輸送手段の提供等）。
経費	適切かつ実効可能な収支計画の作成、運営資金の確保等	○	適正な収支計画案が作成されており、収支責任の所在も明確になっている。
その他	地元サッカー協会や関係団体の関わりや協力体制等	○	愛媛県サッカー協会、教育委員会、地元企業等の積極的な支援が期待される。
J F A	コーチングスタッフの人选、募集、選考試験の実施等	△	コーチングスタッフの人选が急務である。また、アカデミー開校について、四国や周辺地域への説明や周知、協力依頼等も必要である。
総評	各項目の詳細については、継続した協議・調整を必要とするものの、開校に関する基本事項には一定以上の目途が立っており、2015年4月に開校出来る可能性は非常に高い（大きな支障は無い）。		

評価：◎＝開校に支障がない（整備出来ている又は今後整備出来る見通し）。

○＝調整は残るが、開校に支障がない（整備出来る見込みが高い）。

△＝現状では、開校に支障が生じる可能性がある。今後の調整・検討による（整備するために、継続した検討が必要）。

×＝開校又は開校後に大きな支障が生じる可能性がある（整備出来る見込みが低い）。

【募集概要】

- (1) 募集学年 2015年4月に中学1年生となる女子（2014年現在、小学6年生）
- (2) 募集人員 1学年12名（最大）
- (3) 活動方式 平日は寄宿生活をし、アカデミーとしてサッカーのトレーニングや総合的教育を行う。
週末や長期休暇は帰宅し、選手は個々にチームに所属、そのチームで活動する。
- (4) 出願資格 中学校の活動のない日（週末及び長期休暇）に無理なく帰宅することが可能な者
- (5) 選考試験 1次選考（9月下旬）、2次選考（10月下旬）、最終選考（11月下旬）[予定]

2. J F L 選抜チーム 東南アジア遠征の件

日本フットボールリーグ（J F L）は、9月のリーグ中断期間に J F L 選抜チームを東南アジア諸国に遠征させたい意向。以下の内容で遠征することをお諮りしたい。

遠征期間 : 9月5日(金)～15日(月・祝)

<p>遠征先国 : ラオス、ミャンマー、カンボジア (順序は調整中)</p> <p>対戦チーム : 各国代表チーム或いは U23 代表チーム</p> <p>試合予定日 : 9月7日(日)、10日(水)、13日(土) (若干の変更可能性有)</p> <p>試合会場 : ビエンチャン、ヤンゴン、プノンペンスタジアム (後日決定)</p> <p>経費負担 : 往復航空運賃、滞在費、各国国内移動費は日本側負担</p> <p style="text-align: center;">J F A 予算枠 500 万円、J F L 予算枠 500 万円、総額 1,000 万円</p> <p>※ J F L 選抜チーム 過去の遠征実績</p> <p>1999 年 バングラデシュ (第 2 回バンガバンドゥカップ)</p> <p>2002 年 ウズベキスタン (90 周年)、ヨルダン</p> <p>2003 年 ミャンマー、インドネシア</p> <p>2004 年 サウジアラビア (アブドゥラ アルファイサル プリンスカップ)</p> <p>2008 年 タイ (J F L 10 周年)</p>
<p>3. 日本政府主催「感謝の集い」(8月1日/ブラジル)への協力の件</p>
<p>7月下旬から8月上旬の日程で安倍総理大臣がブラジルを含む中南米諸国を訪問する予定で、日本政府は安部総理の中南米歴訪に合わせて8月1日(金)、ブラジル(ブラジル)で「感謝の集い」を主催し、ここに、日本サッカーの発展に貢献した日本とブラジルのサッカー関係者を招くことにしている。</p> <p>J F A は日本政府の要請を受け、「感謝の集い」開催に協力することとし、大仁会長が出席する。また、その前日には J F A 主催の夕食会を開催することにしており、元日本代表監督のジーコ氏などが出席する予定。</p>
<p>4. 2014/2015 フットサル競技規則の改正及び修正の件</p>
<p style="text-align: center;">(協議) 資料No.1</p> <p>2014/2015フットサル競技規則の改正及び修正は別紙のとおり。</p>
<p>5. J F A フットボールフューチャープログラム/トレセン研修会 U-12 の件</p>
<p>「U-12 年代のグランドデザイン」によるゲーム環境の改革の一環として、2013 年 10 月の理事会にて実施概要が承認された本研修会の内容について以下のとおりとしたい。</p> <p>名 称 : J F A フットボールフューチャープログラム/トレセン研修会 U-12</p> <p>会 期 : 2015 年 7 月 29 日 (水) ~ 8 月 2 日 (日)</p> <p>開催場所 : 時之栖スポーツセンター・御殿場高原時之栖</p> <p>参加者 : 選手 768 名・帯同スタッフ 144 名</p> <p style="padding-left: 40px;">47 都道府県※/選手 16 名+スタッフ 3 名 ※東京都は 2 チーム分</p> <p style="padding-left: 40px;">J F A ナショナルトレセンコーチ・運営スタッフ他 総勢約 1,000 名</p> <p>目 的 : 選手に多くの学びの機会を与え、U-12 年代に関わる人々の活動に寄与する研修の場とする。</p> <p>効 果 : ・各地の育成環境、指導指針等、現状に関する状態や情報の吸い上げと日本全体の育成に対する方向性等情報の発信の場として活用できる。</p> <p style="padding-left: 40px;">・都道府県協会から帯同する指導者のレベルアップを図ることができる。</p>

<p>・本研修会参加のための準備段階のプロセスや本研修会での経験を通じて、都道府県協会のU-12年代グランドデザインや都道府県の育成システムの構築が推進される。</p> <p>・指導者や保護者はじめ関わる大人へ対し、選手を育む上で必要な知識や対応事例等の情報を発信する。</p> <p>内 容 : 選手／ゲーム（対抗戦）、トレーニング、レクチャー等 テーマ「クリエイティブで逞しい選手になる！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況を観ながら判断・決断して実行することを習慣化させる ・オン&オフザピッチにおいて自立に働きかける <p>帯同指導者 /レクチャー、実技講習会等 指導者研修会受講者/レクチャー、実技講習会等 視察者（指導者）/指導内容解説等 審判 /レクチャー、ディスカッション等 保護者/レクチャー</p> <p>費用負担 : 選手 16 名・スタッフ 3 名を上限とし、旅費※1、宿泊費、食費※2 を負担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※1 選手の旅費は公共交通機関/小児運賃規程を適用 ※2 7月29日の夕食～8月2日の昼食まで <p>参加費 : 10 千円/選手※3</p> <ul style="list-style-type: none"> ※3 育成事業（トレセン）における受益者負担に鑑み参加費を設定する。 <p>その他 : 研修会であることを踏まえ、華やかな装飾等は行わず、学び、楽しみ、安全を優先した運営を行う。</p>
--

6. AFCフィットネスコース開催の件

（協議）資料No.2

AFC Fitness Coaching Certificate Course はフィットネスコーチに特化した AFC の指導者ライセンスコースである。2019 年から AFC 主催大会において、フィットネスコーチは AFC Level 1 の指導者ライセンスの保有が義務付けられることから、それに対応すべく日本で開催したい。

主催：アジアサッカー連盟（AFC）

主管：公益財団法人日本サッカー協会（JFA）

インストラクター：Jens Bangsbo 氏（AFC フィットネスインストラクター）

日程：〈パート1〉2014年12月15日（月）～20日（土）/5泊6日

〈パート2〉2015年12月中旬～2016年1月（調整中）/5泊6日

開催地：〈パート1〉大阪府堺市

【実技・講義】J-GREEN 堺

【宿泊】DREAM CAMP

〈パート2〉調整中

参加資格：①AFC の B 級指導者ライセンス相当（JFA の B 級指導者ライセンス以上）保有と
 1年以上のサッカー指導経験がある方

②パート2も受講可能な方

※パート1および2の両方の受講修了で本ライセンス取得となる。

募集人数：24名（最少催行人数16名）

予算：約3,000,000円（インストラクター航空券代、謝金、会場使用料等）

7. 小学校体育サポートモデル事業の件

1958年に小学校体育の授業にサッカーが取り入れられた。これは、サッカーの普及において非常に大きな意味を持っている。しかし、サッカー経験のない教員にとってサッカーの授業の実施は難しい面があり、多くの科目を担当する日常の中で教材研究に時間をかけることは厳しい状況にある。さらに、学習指導要領の改訂により、必ずしもサッカーを選択しなくても良いことになった。

こういった状況を鑑み、教材としてのサッカーの価値を有効に生かしてもらうため、教員による授業の実施を研修会と教材によってサポートする以下の事業をモデルしたい。

▶ 「小学校体育サポートインストラクター」の養成

小学校教員向け研修会を開催サポートできるようインストラクターの養成を行う。

（2014年3月Jステップにてトライアル研修会を実施、40名の参加があった）

2015年度以降、年1回から数回の実施を予定

▶ 小学校教諭向け「小学校体育サポート研修会」の実施

市町村や学校単位における体育科目教員研修会（研究会）にインストラクター・スタッフを派遣、研修会として実施する。

今年度はキッズプロジェクトメンバーならびインストラクターに関係する小学校や市町村単位で数回をモデルケースとして実施予定。2015年度以降は、インストラクター養成にあわせて研修会を展開。

※本研修会は文部科学省後援の研修会として申請/認可予定

▶ 教材『サッカー指導の教科書』の作成

趣旨、研修会の実施等に鑑み、サッカー授業のサポート教材を作成、一般販売を開始した。

著者：公益財団法人 日本サッカー協会

出版社：東洋館出版株式会社 ※教科教育書出版の実績あり

販売方法：一般書店売 定価2千円（税別）

内容：生涯サッカーから逆算した考えに基づき、学習指導要領に示されている3つの単元から構成され、さらに45分の授業の組み立てや授業の中での声かけ、発育発達に合わせた評価ポイントなどを記載。実際の小学校での授業組み立てに則った内容で構成。

8. 各種委員会委員及び部会員選任の件

以下の通り、委員・部会員を交代したい。

(1) スポーツ医学委員会

現委員) 松本 秀男/慶応義塾大学医学部 スポーツ医学総合センター

新委員) 立石 智彦(たていし ともひこ)/同愛記念病院

※現任者の業務の都合による

(協議) 資料No.3

(2) 復興支援委員会

現委員) 倉田 泰明/福島県F A 前専務理事

新委員) 橋本 善一郎 (はしもと ぜんいちろう) /福島県F A 専務理事

※岩手・宮城・福島の3県の専務理事を委員に選出しているが、福島県サッカー協会の専務理事が交代した為

(3) 天皇杯実施委員会

現委員) 反町 正郎/日本放送協会

新委員) 中野 泉 (なかの いずみ) /日本放送協会

※現任者の担当変更に伴う交代であり、日本放送協会の推薦による

(4) 競技会委員会

① シニア大会部会

現部会員) 福田 治/栃木県F A

新部会員) 手塚 千俊 (てづか ちとし) /千葉県F A

※関東地域の推薦による交代

② 女子大会部会

現部会員) 大沼 敏美/山形県F A

新部会員) 中川 秀峰 (なかがわ ひでみね) /秋田県F A

※東北地域の推薦による交代

現部会員) 芦原 正紀/神奈川県F A

新部会員) 神庭 力 (かんばん つとむ) /千葉県F A

※関東地域の推薦による交代

現部会員) 椿本 和夫/愛媛県F A

新部会員) 猿澤 明子 (さるさわ あきこ) /香川県F A

※四国地域の推薦による交代

(5) フットサル委員会 地域フットサル・ビーチ部会

現委員) 大谷 浩志/滋賀県F A

新委員) 中村 篤実 (なかむら あつみ) /兵庫県F A

※関西協会の推薦による交代

現委員) 中島 博/徳島県F A

新委員) 大坪 幹夫 (おおつぼ みきお) /高知県F A

※四国地域の推薦による交代

9. 2014年度 功労賞の件

地域及び都道府県F Aから申請があった以下31人の方に功労賞を授与したい。

なお、受賞者には例年通り、賞状、及び盾を贈呈したい。

※対象者

(1) 地域及び都道府県F Aの三役 (会長、副会長、専務理事及び理事長) を退任された方

(2) 地域F A役員を退任された方 (役員歴20年以上) : 各地域F A 年度毎2名以内

No.	F A	氏名	前 (元) 役職
1	北海道	石丸 修太郎	副会長
2	北海道	佐々木 博光	地域理事 20年以上

3	青森県	金澤 政男	副会長
4	宮城県	白幡 洋一	副会長
5	秋田県	小川 武夫	副会長
6	山形県	塩野 孝男	副会長
7	山形県	油谷 俊次	副会長
8	福島県	櫻岡 祐一	会長
9	栃木県	吉江 澈也	副会長
10	群馬県	牛久保 勇	専務理事
11	埼玉県	相川 宗一	会長
12	富山県	福田 孜	会長
13	富山県	山浦 尚	副会長
14	富山県	貫江 和夫	専務理事
15	富山県	灰谷 久登	副会長
16	静岡県	桑原 勝義	副会長
17	愛知県	山田 隆雄	副会長
18	三重県	前田 耕一	会長
19	滋賀県	永井 彰	副会長
20	大阪府	鬼武 健二	会長
21	山口県	野田 忠義	会長
22	徳島県	播磨 義博	副会長
23	愛媛県	二神 薫明	副会長
24	愛媛県	小埜山 博夫	副会長
25	高知県	濱田 征男	副会長
26	佐賀県	今村 統嘉	会長
27	熊本県	遠山 和美	副会長
28	熊本県	上野 住江	副会長
29	宮崎県	横川 敏孝	副会長
30	鹿児島県	山崎 亨	理事長
31	鹿児島県	長嶺 一夫	副会長